

2026 年度事業計画書

I. 事業方針

世代を超えた食文化研究の永続的な発展、および食文化の普及啓発へのさらなる貢献

- ・食文化研究者の発掘・育成と研究・交流の場の継続的提供により研究の更なる発展・拡大を図る。
- ・成果・知見の外部への体系的発信を通じて、食文化への関心を喚起し、理解を深める。

II. 2026 年度事業計画

【年度計画骨子】

食の文化フォーラム、食の文化研究助成、食の文化シンポジウム、食の文化ライブラリーの運営、食文化展示室での企画展示、食文化誌『vesta』刊行等の着実な実施を行う。

次世代も含めた潜在的なユーザーに向けたコミュニケーション戦略を立案し、SNS の戦略的な発信、地域や他施設との連携強化、『vesta』デジタル版の購読推進等を行う。

1. 食の文化フォーラム

- ① 2026 年度 年間テーマ:「辛いのになぜ食べる(仮)」
コーディネーター:松島 憲一 氏(信州大学)
総合司会:早川 文代 氏(農研機構)
- ② 2025 年度フォーラム「宴のいろいろ」を基とした書籍の出版を通じ、学際的討論の場であるフォーラムの成果と活動意義を広く世に伝える。
- ③ フォーラム 50 周年(2032 年度)に向けた議論を開始し、食文化研究の発展を担う次世代が参加する場を積極的に創出するとともに、フォーラムのさらなる進展を図る。

2. 食の文化シンポジウム・公開講座

- ① 食の文化シンポジウム(時期未定:2027 年 2 月~3 月頃)
2025 年度フォーラムテーマ「宴のいろいろ」をベースとし、複数分野の登壇者を迎えて多角的に食を論じ、食文化研究の成果と魅力を伝えるシンポジウムを開催する。
- ② 共催シンポジウム(時期未定:2026 年 10 月~12 月頃)
人間文化研究機構との共催シンポジウム(第 10 回)を開催、Web 配信も併用し広く発信する。
- ③ 公開講座
食文化展示室の企画展示と連動した公開講座を実施する(時期:2026 年 10 月~12 月)。
『vesta』執筆者による公開講座「聴く vesta」を開催する(時期未定)。

3. 食の文化研究助成

- ① より幅広い学問分野からの応募を促すため、特定の分野への偏在が生じないよう、広く関連学会や大学への周知を強化し、食文化研究の裾野の拡大を図る。
- ② 多様な専門分野の研究者によるさらなる活躍の展開を支援するべく、若手研究者同士の交流の機会を継続的に提供し、食文化研究者の増加および研究テーマの広がりを支援する。

4. 食の文化ライブラリー・食文化展示室

- ① ライブラリー
蔵書(書籍、雑誌、古典籍)4 万 5 千冊超の検索高度化、未公開資料(錦絵等)デジタルデータの登録推進などを通じ、コアユーザーの利便性を高める。
地域、学校図書館、他施設と連携し、当ライブラリーの魅力を広く発信することにより、来館者数の増加を図る。
- ② 公開展示・所蔵資産の活用
所蔵する「大日本物産図会」を活用した企画展示「『大日本物産図会』にみる「食」「時代」「人々」

第3回「日本のものづくり」を開催する(2026年10月～12月頃)。
他館との連携を通じ、所蔵する錦絵・料理レプリカなどのさらなる活用を推進する。

5. 食の文化誌『vesta』

① 2026年度『vesta』出版

- 142号特集「おいしい泡(飯)」早川 文代 氏(農研機構)(2026/4)
143号特集「世界の雑穀(飯)」倉内 伸幸 氏(日本大学)(2026/7)
144号特集「災害食の最前線(飯)」川尻 由美子 氏(日本災害食学会)(2026/10)
145号特集 検討中(2027/1)

② 普及推進

個人向けデジタル版(Kindle、楽天マガジン、dマガジン等)、電子図書館向けコンテンツなど、電子版のさらなる購読を推進するとともに、SNS等と連動してより広い読者を開拓する。
映像「みる vestaー食文化の世界ー」制作、『vesta』執筆者による公開講座「聴く vesta」を通じ、『vesta』特集エッセンス、誌面内容を掘り下げて知る機会を継続して創出し、読者層を拡大する。

6. コミュニケーション

① SNS等

メールマガジン、Facebook、Instagram、YouTube等の戦略的な発信を通じて新たな登録者・フォロワーを獲得し、幅広い層の食文化への関心を喚起し、財団のプレゼンスを高める。

② ウェブサイト

財団の多様な活動内容と食文化分野の幅広さをよりわかりやすく伝え、利用者の利便性向上を目指す。

Ⅲ. 事業関連予算

テーマ (金額：百万円)		2025年度予算	2025年度見込	2026年度予算	事業計画概要
a)	食の文化フォーラム	17.0	13.7	14.7	フォーラム50周年(2032年度)に向けた議論を開始するとともに、次世代が参加する場を積極的に創出し、フォーラムのさらなる進展を図る
b)	食の文化シンポジウム	7.8	8.2	7.8	食の文化フォーラムと連動した単独シンポジウム、人間文化研究機構との共催シンポジウムを継続実施する
c)	食の文化研究助成	16.0	14.4	16.0	食文化研究の裾野の拡大を目指し、幅広い学問分野からの応募を促すとともに、若手研究者同士の交流の機会を継続的に提供する
d)	公開施設 (食の文化ライブラリー、食文化展示室)	22.0	20.2	21.6	地域、学校図書館、他施設と連携し、当ライブラリーの魅力を広く発信することを通じて来館者数の増加を図るとともに、食文化展示室での企画展を開催する
e)	食の文化誌『vesta』	23.0	24.3	27.3	電子版の配信強化やSNS連動で新規読者を開拓する映像版や執筆者による公開講座を通じ、特集の魅力を掘り下げ、読者層の拡大を図る
f)	事業共通	7.0	11.0	11.0	賃貸料、業務委託等、財団運営のための共通基盤を維持する
合計	事業費(人件費、情報システム費除く)計	92.8	91.8	98.4	

テーマ (金額：百万円)		2025年度予算	2025年度見込	2026年度予算	概要
	情報システム(WEB含む)定常	16.0	19.0	22.0	情報システム基盤費用・セキュリティ費用
	情報システム 改修・サーバリプレイス	6.0	9.2	10.0	ホームページ維持・改修費用
合計	情報システム費 計	22.0	28.2	32.0	

以上